

【グローバルコミュニケーション研究センターより】
2018年度TLPロシア語ロシア研修プログラム募集要領

トライリンガル・プログラム（TLP）ではプログラムの一環として、2018年8月末から9月中旬まで、17日間程度（若干の変更可能性あり）のロシア語研修を、ロシア連邦サンクト・ペテルブルグ市にて行う予定です。ペテルブルグ大学での語学研修のほか、市内・近郊でのエクスカージョンなどを実施します。対象はTLP履修生に限りませんので、奮って応募してください（選抜はTLP生も非TLP生も平等に行われます）。

つきましては下記の要領で選抜を行います。

(1) 資格：2017年度にロシア語を初修外国語として履修していた2年生。有効期限が2020年4月1日以降のパスポートを所持している者（ロシア政府のビザ発行要件として、パスポートの残り有効期間がロシア出国時から18か月以上とされているため）。適当なパスポートを所持していない者は、試験までにはかならず取得手続きをすること。

(2) 選抜方法：筆記試験。必要に応じて面接を行う。

(3) 筆記試験：4月23日（月）6限（会場については追って通知。どうしても日程の都合がつかない者は連絡すること）。試験範囲は、『ロシア語をはじめよう』第19課までとする（主として作文と露文和訳問題）。

(4) 筆記試験に基づき第一次候補者を選抜し、メールで連絡する。その後、必要に応じて面接を行い、最終的に決定する。面接にはロシア語でのインタビューも含む。

(5) 受験希望者は4月20日（金）23時までに乗松亨平（knorimatsu@chora.c.u-tokyo.ac.jp）にメールすること。応募メールには氏名、生年月日、学生証番号を記入すること。

(6) 注意：研修には日本出国から帰国まで、全期間の参加以外は認められない。選抜後に自己都合により辞退することも認められないので、スケジュールを事前に慎重に検討してから申し込むこと。また、ロシアのビザ申請手続中（7月後半～8月中旬のあいだの10日間程度）はパスポートを預けることになるので、その時期ずっと海外にいる予定の者は本研修には申し込めない。

およそ12名を研修対象者とし、現地での学費・宿泊費・課外研修費におおむね相当する奨学金を支給します。その他、質問がある場合は上記メールアドレスに連絡してください（選抜試験の内容に関する質問には答えられません）。

2018年4月14日
教養学部ロシア語部会